

新しいごみ処理施設建設に向けて

穂高広域施設組合（安曇野市・池田町・松川村・生坂村・筑北村・麻績村で構成）では、現在稼働しているごみ焼却施設の老朽化に対応するため、新しいごみ処理施設を現施設の南側隣接地に建設します。



建設予定地（写真手前のグラウンド）

稼働から22年経過

市には、ごみを焼却する施設として、穂高クリーンセンターがあります。

この施設は、平成6年に稼働を開始してから22年が経ち、焼却施設としての耐用年数が経過し、施設や装置が老朽化している状況です。このことから穂高広域施設組合では、施設の建て替えを行います。この建て替えに要する市が負担する費用は、合併特例債を活用します。

建設用地は、現在の施設の南側隣接地で、穂高広域施設組合が地元地区の理解により取得した場所です。

新しい焼却施設の処理能力は1日に120トン。施設内には、不燃物の破碎・選別処理を行う施設を設けます。さらに、現在受け入

れていないふとんや畳などの「可燃性粗大ごみ」の受け入れも計画しています。建設費は110億円、運営委託料（20年と1カ月間）として100億円を見込んでいます（左表参照）。今後は、本年10月上旬に整備・運営事業者を決定し、平成30年4月に実施設計の着手、平

◆概 要	
項 目	内 容
事業名称	穂高広域施設組合 新ごみ処理施設整備・運営事業
施設概要	ごみ焼却施設 全連続燃焼式（ストーカ炉または流動床炉）120t/日（60t/24h × 2炉） 不燃物処理施設（破碎・選別） 3t/日 ※可燃性粗大ごみの受入れを計画しています。 ※焼却方式および施設規模は事業者の提案としています。
予定価格	建設費：110億円以内（消費税及び地方消費税の額を含む） 運営委託料：100億円以内（消費税及び地方消費税の額を含む） （委託期間）平成33年3月から平成53年3月までの20年1カ月
建設期間	平成30年4月から平成33年2月末

成33年3月の稼働を目指します。

説明会にお越しく下さい

この事業を進めるにあたり、新施設が環境にどのような影響を及ぼすかを調査、予測、評価しました。その結果についての公告・縦覧と説明会を開催します。説明会は、どなたでも参加いただけますのでお越しく下さい。

環境影響評価準備書の公告・縦覧

●公告 9月上旬予定
（期間は公告から30日間）

●縦覧方法 長野県ホームページまたは安曇野市環境課（2階5番）窓口で。

環境影響評価について説明会

●日時 9月25日（月）午後7時～8時予定

●場所 穂高広域施設組合（穂高クリーンセンター）ごみ焼却施設2階会議室

●穂高広域施設組合
TEL 82・2147 FAX 82・8779



穂高広域施設組合管理者・安曇野市長 宮澤宗弘

環境コラム

長野県は2年連続で ごみ排出量の少なさを 日本一となりました！

環

境省が公表する一般廃棄物処理事業実態調査（平成27年度実績）結果では、昨年に引き続き、長野県が1人1日当たりのごみ排出量が少ない都道府県第1位になりました。そのうち、市のごみ排出量は793^gと、県全体の平均より少ない値でした。これからも日本一であり続けるために、美しい自然を次世代に引き継ぐために、さらなるごみの減量化を進めていきましょう。

幹事さんの 呼び掛け例

宴会開始時（乾杯の後など）

本 日のお料理は、召し上がっていただいた頃合いを見て、次の料理が出てまいります。まず、料理を平らげてからお酌に回っていただき、途中でまたお席にお戻りください。

お開き前（中締め前）

テ ーブルの上にはまだまだお料理が残っております。有るを尽くして、気持ちよくお開きにしましょう！

残さず食べよう！

30・10（さんまるいちまる）運動 宴会食べきりキャンペーン

宴

会ではたくさんのお料理が残ってしまいがちです。誰でもできるごみ減量の取り組みのひとつは食べ残しをしないこと。宴会が始まった最初の30分と、最後の10分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょう。幹事さんは、呼び掛け例を参考に宴会開始時やお開きの前に食べきりを呼び掛け、出席者も食べ残しの削減にご協力をお願いします。

●廃棄物対策課廃棄物対策担当

TEL 71・2490 FAX 72・3176

1人1日当たりのごみ排出量

1位	長野県	836g
2位	沖縄県	841g
3位	滋賀県	843g

全国平均 939g

長野県民が1人1日当たりに出すごみの量の少なさは、2年連続で全国第1位！

ちなみに安曇野市は…

793g

（出典：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」平成27年度実績）

暮らしに欠かせない 大切な施設

老朽化に伴う穂高クリーンセンターごみ焼却施設の建て替えは、広域におよぶ喫緊の課題であり、合併特例債の活用最終期限内である平成33年3月には稼働する予定で計画を進めています。この施設は、私たちの暮らしを支えるために欠かせない大切な施設です。地元市民の皆さまをはじめ、関係町村の皆さまのご理解ご協力を得ながら、計画的に整備を進めてまいります。また、ごみ処理の環境を整える一方で、ごみ減量の取り組みも進めなければなりません。全国的にもごみ排出量が少ないという素晴らしい地域性を生かし、これからもリサイクルの推進など積極的なごみ減量化への取り組みをお願いいたします。